

13 九九の表 ①

な
ま
え

ねらい 九九の答えの一の位の数字の規則性に気づき、九九のきまりについて関心を高める。

Ⅰ 九九の^{こた}答えの一の位^{くらい}の数字^{すうじ}を、^{ちよくせん}直線でじゅんにむすびました。

- ① 答えの一の位の数字に、1から9がぜんぶあるだんを見つけましょう。

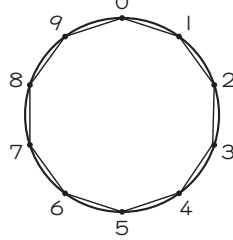
() のだん

() のだん

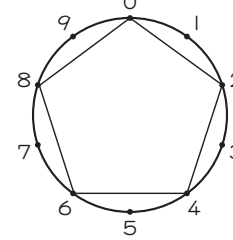
() のだん

() のだん

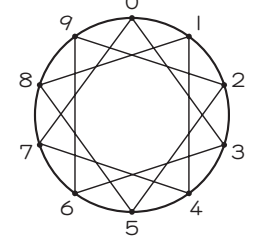
1 のだん



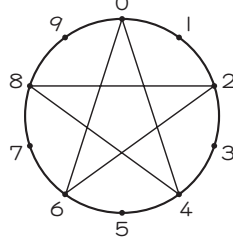
2 のだん



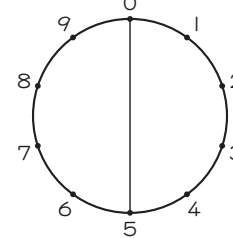
3 のだん



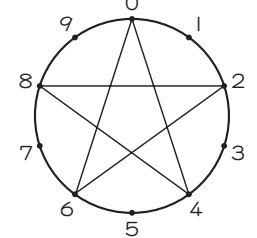
4 のだん



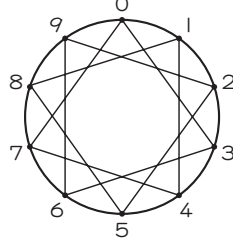
5 のだん



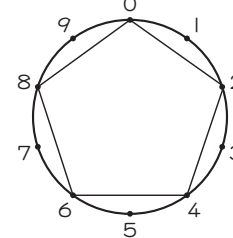
6 のだん



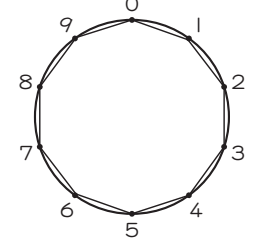
7 のだん



8 のだん



9 のだん



- ② 答えの一の位の数字が、0、2、4、6、8になるだんを見つけましょう。

() のだん () のだん () のだん () のだん

- ③ 答えの一の位の数字が^{おな}同じだんを見つけましょう。

1 のだんと () のだん 2 のだんと () のだん

3 のだんと () のだん 4 のだんと () のだん

13 九九の表 ②

な
ま
え

ねらい 九九表を見て、様々なきまりを見つけることができる。乗数と積の関係を理解する。

① 九九の表を見て、いろいろなきまりを見つけましょう。

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

①

かける数と答えのきまり

- ・ 4のだんでは、
かける数が1ふえると、
答えは ふえる。
- ・ 6のだんでは、
かける数が1ふえると、
答えは ふえる。

②

3のだんは 1のだん + 2のだん のきまり

- ・ 2のだんと3のだんの答えをたすと、 のだんの答えになる。
- ・ 3のだんと4のだんの答えをたすと、 のだんの答えになる。

③ たすと8のだんの答えになるだんを見つけましょう。

- ・ 1のだんと () のだん ・ 2のだんと () のだん
- ・ 3のだんと () のだん
- ・ 1のだんと2のだんと () のだん
- ・ 1のだんと3のだんと () のだん

ねらい 九九表をみて、乗法の交換法則を理解する。

① () にあてはまることばを、□にはあてはまる^{かず}か^か数を書きましょう。

① かけ算では、かける数が1ふえると、
 答えは()だけ、ふえます。

② 7のだんでは、かける数が1ふえると、
 答えは□ふえます。

7×5の答えは、7×4の答えより

□大きくなります。

かけられる数 かける数

7	×	3	=	21
		↓ ^{1ふえる}		↓ ^{□ふえる}
7	×	4	=	28
		↓ ^{1ふえる}		↓ ^{□ふえる}
7	×	5	=	35

② () にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

① かけ算では、かけられる数と()を入れかえても、
 答えは()になります。

② $5 \times 4 = \square \times \square$

$8 \times 7 = \square \times \square$

$7 \times 1 = \square \times \square$

③ 答えが18の九九を書きましょう。

$\square \times \square = \square \times \square$

$\square \times \square = \square \times \square$

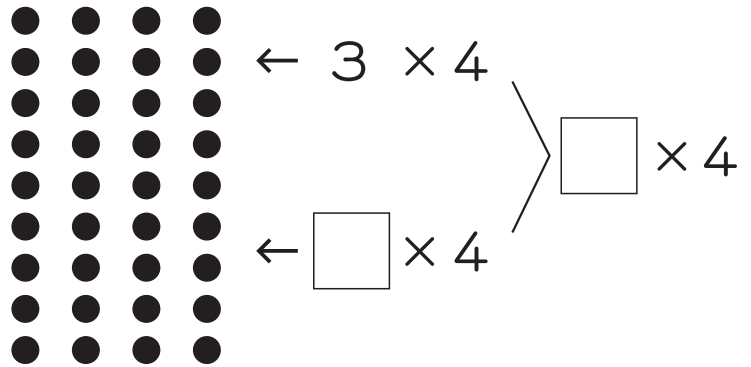
		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

13 九九の表 ④

な
ま
え

ねらい 九九表をみて、乗法の分配法則を理解する。

- ① 右の図をつかって、
 3×4 と 6×4 をたすと
 9×4 になるわけを
 せつ明^{めい}しましょう。
 また、□にあてはまる
 かず^かを書きましょう。



- ② 5のだんは □のだん + □のだん のきまりが、ほかのだんでも
 いえるでしょうか。



2のだん + 3のだん は…。					
	1	2	3	4	5
2	2	4	6	8	10
3	3	6	9	12	15
5	5	10	15	20	25

- ① 3のだん + 5のだん は、
 なん
 何のだんになるでしょうか。

	1	2	3	4	5
3	3	6	9	12	15
5	5	10	15	20	25

() のだん

- ② 2のだん + 5のだん は、
 何のだんになるでしょうか。

	1	2	3	4	5
2	2	4	6	8	10
5	5	10	15	20	25

() のだん

- ③ 3のだん + 4のだん は、
 何のだんになるでしょうか。

	1	2	3	4	5
3	3	6	9	12	15
4	4	8	12	16	20

() のだん

13 九九の表 ⑤

な
ま
え

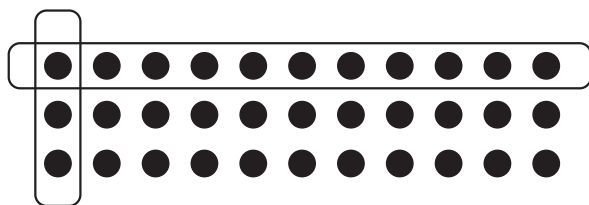
ねらい 乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えることができる。

- ① 11×3 の^{こた}答えを、かずさんとたかしさんが考えました。
□にあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。



11×3 は、11 が □ ^{ぶん}こ分だから、 $11 + 11 + 11 =$ □

だから、 $11 \times 3 =$ □



$$\begin{array}{ccc} \boxed{3} & \times & \boxed{11} = \boxed{} \\ & \swarrow & \searrow \\ \boxed{} & \times & \boxed{} = \boxed{} \end{array}$$

- ② かけ算^{ざん}のきまりをつかって、つぎ^{けいさん}の計算の答えをもとめましょう。

① $10 \times 10 =$

② $10 \times 11 =$

③ $11 \times 12 =$

④ $12 \times 11 =$

⑤ $12 \times 12 =$

		かける数											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40	44	48
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60	66	72
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63	70	77	84
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72	80	88	96
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81	90	99	108
	10	10	20	30	40	50	60	70	80	90			
	11	11	22	33	44	55	66	77	88	99			
	12	12	24	36	48	60	72	84	96	108			

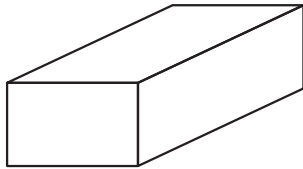
14 はこの形 ①

な
ま
え

ねらい 箱の形をしたものの構成要素（面）について理解する。

1 () にあてはまることばを、□にはあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。

②あ



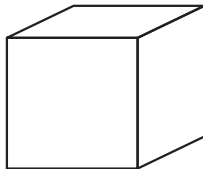
左のはこの形の^{かたち}たいらなところを

() といいます。

面^{めん}の形 ()

面の数 □

②い



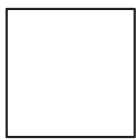
左のはこの形の^{かたち}たいらなところを

() といいます。

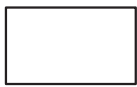
面^{めん}の形 ()

面の数 □

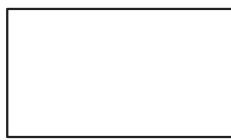
2 上の2つのはこの面をうつしとって、はろうと思った紙^{かみ}が、
ばらばらになってしまいました。②あのはこの面には②、
②いのはこの面には②と () に書きましょう。



()



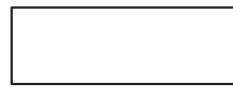
()



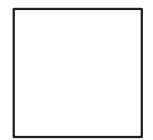
()



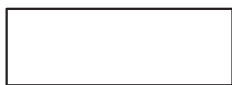
()



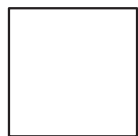
()



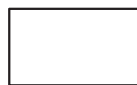
()



()



()



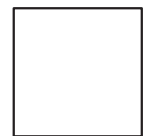
()



()



()



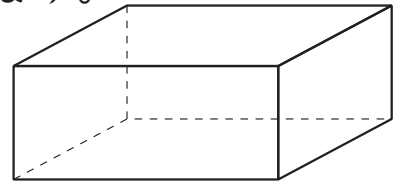
()

14 はこの形 ②

な
ま
え

ねらい 箱の形をしたものの構成要素（辺、頂点）について理解する。

1 はこの形についてしらべましょう。

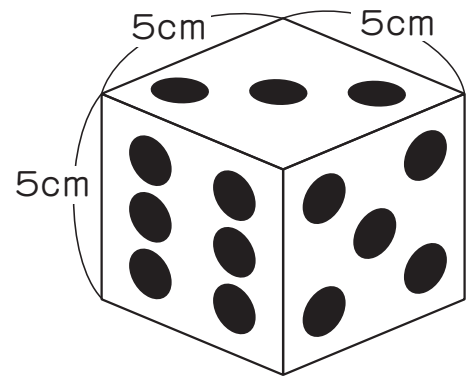
() にあてはまることばを、□にはあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。① 面^{めん}と面^{めん}の間の直線^{あいだ ちよくせん}を () といいます。② 3つの^{へん}辺^{へん}があつまったところを
() といいます。③ はこの形には、辺が □ 本、ちょう点^{てん}が □ こあります。

2 右のようなさいころの形には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

また、ちょう点はいくつあるでしょうか。

・ () cmの辺が () 本

・ ちょう点が () こ

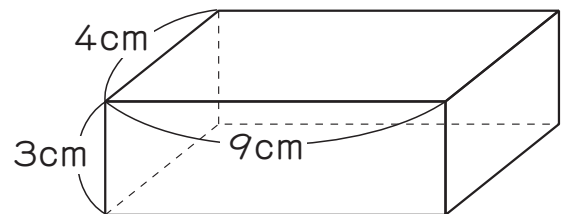


3 右のようなはこの形には、つぎの長さの辺はいくつあるでしょうか。

① 3cmの辺 () 本

② 4cmの辺 () 本

③ 9cmの辺 () 本

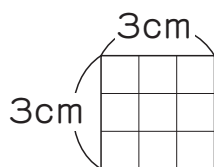


はこの形 (学んだことをつかおう) ③

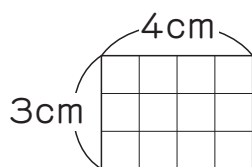
なまえ

ねらい 箱の形をしたものを構成したり分解したりすることができる。(2時間)

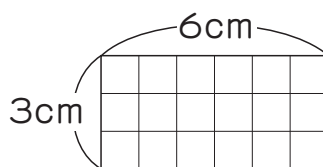
- ① 下のよう^{せいほうけい}な正方形や長^{ちようほうけい}方形をつかって、はこをつ^{つく}ります。
 お^{おな}な^{かたち}は^{おな}何^{かたち}ま^{おな}いつ^{かたち}か^{かたち}つ^{かたち}か^{かたち}つ^{かたち}ても^{かたち}いい^{かたち}です。



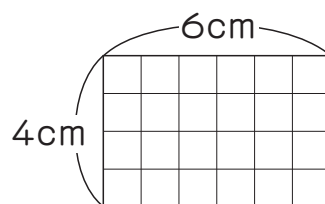
①あ



②い

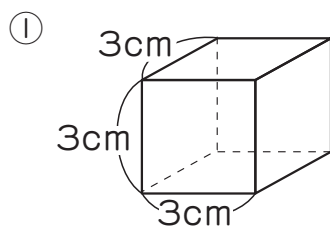


③う

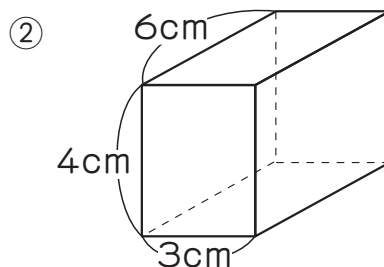


④え

はこの形を作るためにつかう形^{きごう}の記号を()に、つかうま^{すう}い^{すう}数を
□に書^かきましょう。

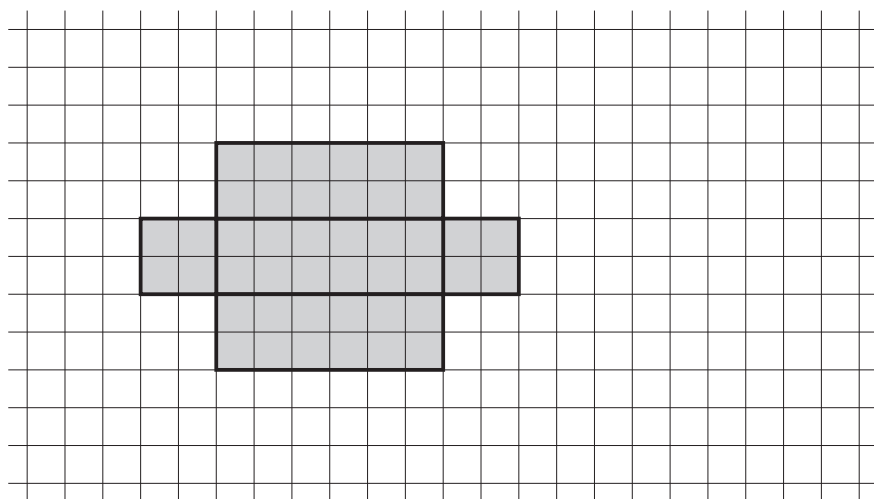


() を □ まい



() を □ まい
 () を □ まい
 () を □ まい

- ② 下の図^ずに、あと1つ面^{めん}をつ^めけ^{めん}く^{めん}わ^{めん}え^{めん}ると、
 はこを切^きり^きひ^きら^きいた形^{かたち}にな^{かたち}ります。
 その面^{めん}の形^{かたち}を1つ、下の図^ずにつ^めづ^{めん}けて^{めん}か^{めん}き^{めん}ま^{めん}しょう。

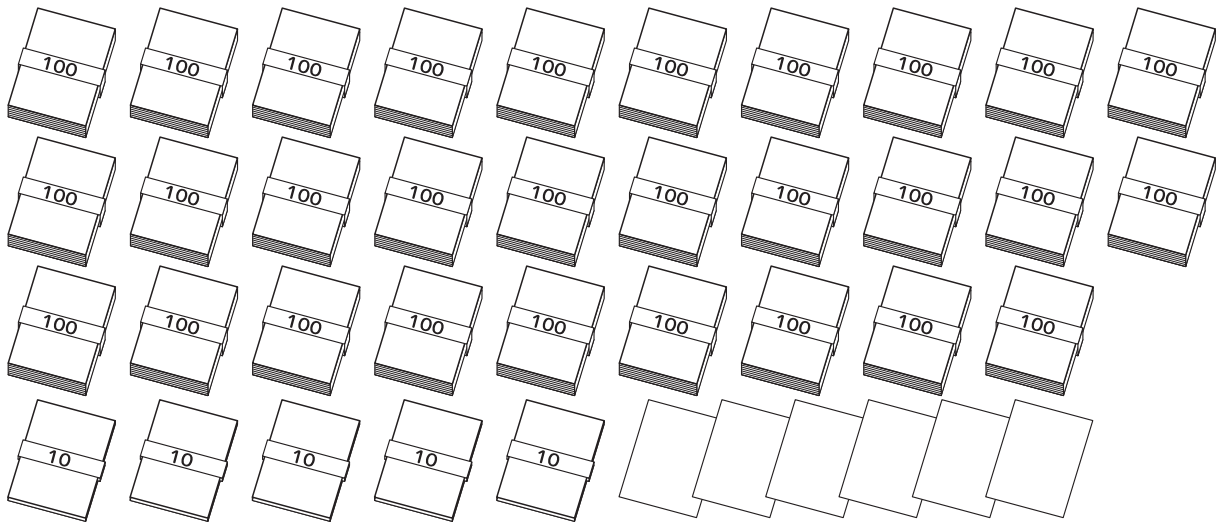


15 1000より大きい数 ①

な
ま
え

ねらい 10000未満の数の読み方、表し方、4位数の構成と位取りの仕組み（千の位）を理解する。

- ① おり紙は何まいあるでしょうか。（ ）にあてはまることばを、
 □にはあてはまる数を書きましょう。



- ① 100のまとまりが10こあつまったら □ になります。

- ② 1000を2こあつめた数を（ ）といい、

□ と書きます。

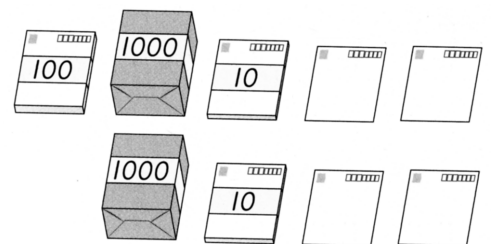
- ③ 二千と九百五十六をあわせた数を
 （ ）といい、数字で □ と書きます。

- ② 何まいあるでしょうか。数字で書きましょう。

また、千の位の数字は何でしょうか。

答え（ ）まい。

千の位の数字（ ）

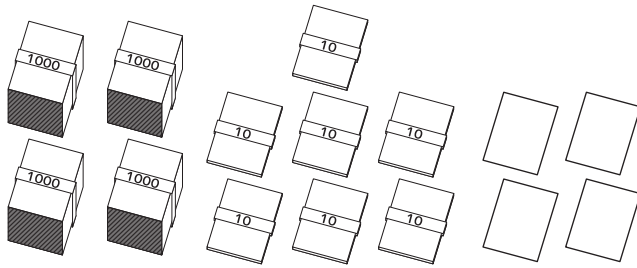


15 1000より大きい数 ②

な
ま
え

ねらい 空位のある4位数の読み方、表し方を理解する。

Ⅰ おり紙^{がみ}は何まい^{なん}あるでしょうか。



① 位^{くらい}ごとに●^かを書きましょう。

千の位	百の位	十の位	一の位

② おり紙^かの数を、右の□の中に書きましょう。

Ⅱ つぎの数を書きましょう。

① 1000を8こと、10を2こあわせた数 ()

② 1000を7こと、1を6こあわせた数 ()

Ⅲ つぎの数を数字^{すうじ}で書きましょう。

① 五千十六 ()

② 三千四十 ()

Ⅳ □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

① 6738 □ 6741

② 3176 □ 3099

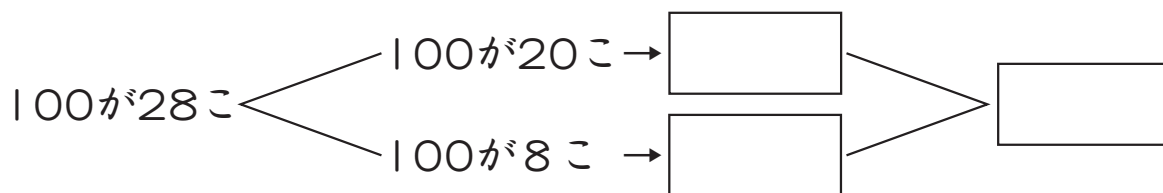
③ 7717 □ 7771

④ 8808 □ 8880

ねらい 数の相対的な大きさについて理解する。

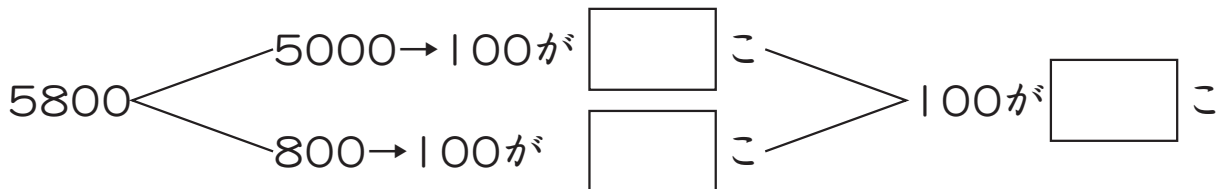
Ⅰ 100を28こあつめた^{かず}数はいくつでしょう。

100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100



Ⅱ 5800は100を何^{なん}こあつめた数でしょう。

1000	1000	1000	100	100	100	100	100
1000	1000		100	100	100		



Ⅲ □にあてはまる数を書きましょう。

① 100を53こあつめた数は□です。

② 6300は100を□こあつめた数です。

③ 9800は100を□こあつめた数です。

ねらい 10000の読み方、書き方を理解し、10000以下の数の順序について理解する。

- ① 下の数の線を見て、() にあてはまることばを、
□にはあてはまる数を書きましょう。



- ① 1000を10こあつめた数を()といい、

□と書きます。

- ② 10000より1小さい数は□です。

- ③ 10000は9900より□大きい数です。

- ② つぎの数を書きましょう。

- ① 10000を7こと、100を4こあわせた数()

- ② 7300より50小さい数()

- ③ 下の数の線で、つぎの①、②、③の数をあらわすめもりに↑とその数を書きましょう。

- ① 6050 ② 8500 ③ 10100



ねらい 百を単位にしてみられる数の加法の計算の仕方を理解する。

- ① $800 + 600$ の計算のしかたを考えましょう。
 □にあてはまる数を書きましょう。



$$800 + 600 = \square$$

100のまとまりが

 こ

100のまとまりが

 こ

100のまとまりで考えると

$$\square + \square = \square$$

だから

- ② $1400 - 800$ の計算のしかたも考えてみよう。
 □にあてはまる数を書きましょう。



$$1400 - 800 = \square$$

100のまとまりが

 こ

100のまとまりが

 こ

100のまとまりで考えると

$$\square - \square = \square$$

だから

- ③ 計算をしましょう。

① $500 + 900 =$

② $700 + 600 =$

③ $1500 - 700 =$

④ $1200 - 900 =$

1000より大きい数
(学んだことをつかおう) ⑥

なまえ

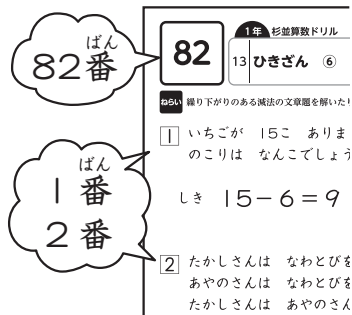
ねらい 数の役割について考え、物事を分類整理した結果を表すのに数を用いる場合があることを理解する。

- Ⅰ はるきさんたちが、みのまわりからいろいろな^{かず}数を見つけました。
どんなやくわりの数か^{かんが}考えてみましょう。

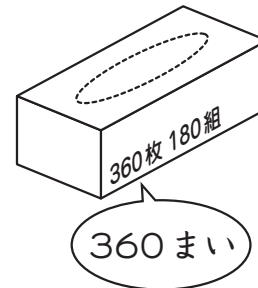
① 教科書



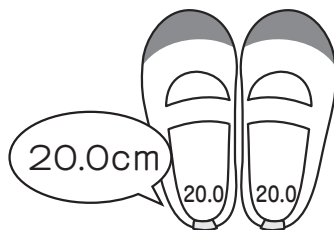
② 算数ドリル



③ ティッシュペーパー



④ 上ばきの大きさ



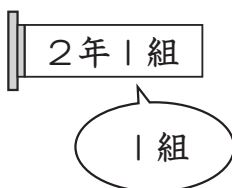
⑤ じゅうしょの番地



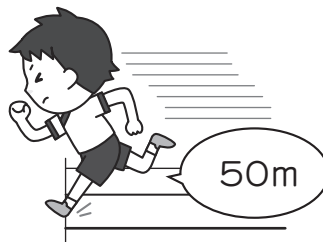
⑥ ゆう便番号



⑦ 学年学級ひょうじ



⑧ 50m走



- ① 数のやくわりを考えて、()に①～⑧を書きましょう。

りょうをあらわしているよ。

()

じゅんばんをあらわしているよ。

()

ものごとをせいりしているよ。

()

★

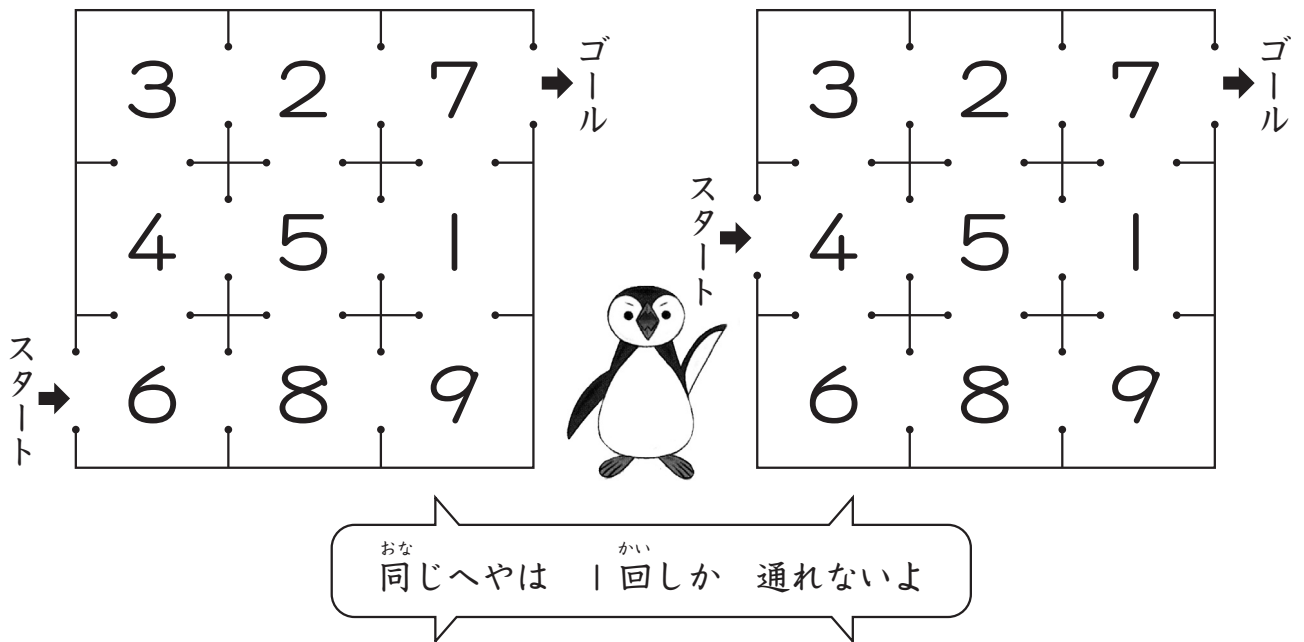
算数ワールド
数のめいろ

なまえ

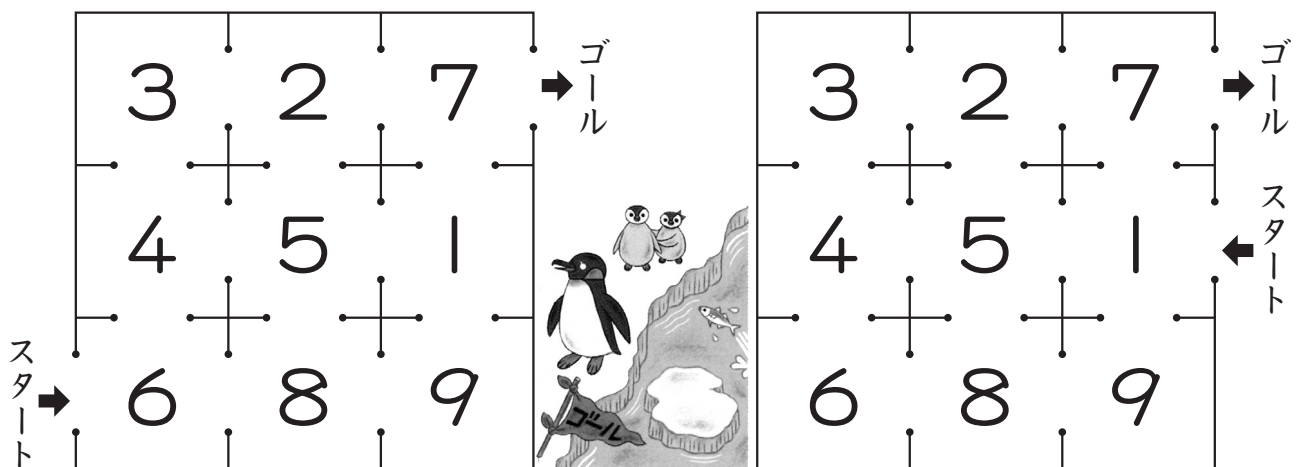
ねらい 決められた和になる数の選び方を、筋道立てて考えることができる。

Ⅰ ^{とお}通ったへやに^か書いてある^{かず}数を、スタートからゴールまで、たしていきます。

① ^{こた}答えが35になるようにすすみ、すすみかたを^{せん}線でつなぎましょう。



② 答えが40になるようにすすみ、すすみかたを線でつなぎましょう。



16 図を使って考えよう ①

な
ま
え

ねらい 加法と減法の相互関係について理解する。

りんご …… 9こ

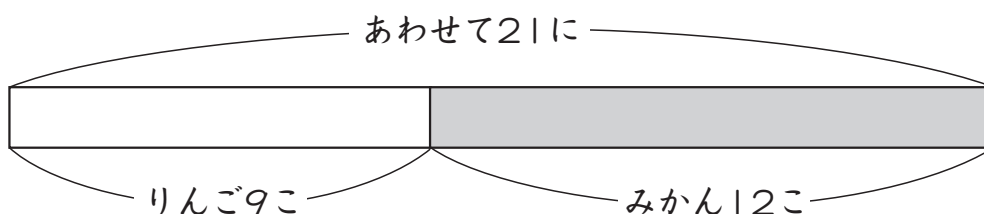


みかん …… 12こ



あわせて …… 21こ

Ⅰ 下の図をつかって、たし算やひき算のもんだいをつくりましょう。



① たし算のもんだいをつくりましょう。

り	ん	ご	が																

② ひき算のもんだいをつくりましょう。

り	ん	ご	と																

16 図を使って考えよう ②

な
ま
え

ねらい 加法逆減法の場合面を図や式に表して、答えを求めることができる。

- ① シールを12まいもっています。^{なん}何まいかもらったので、シールはぜんぶで20まいになりました。

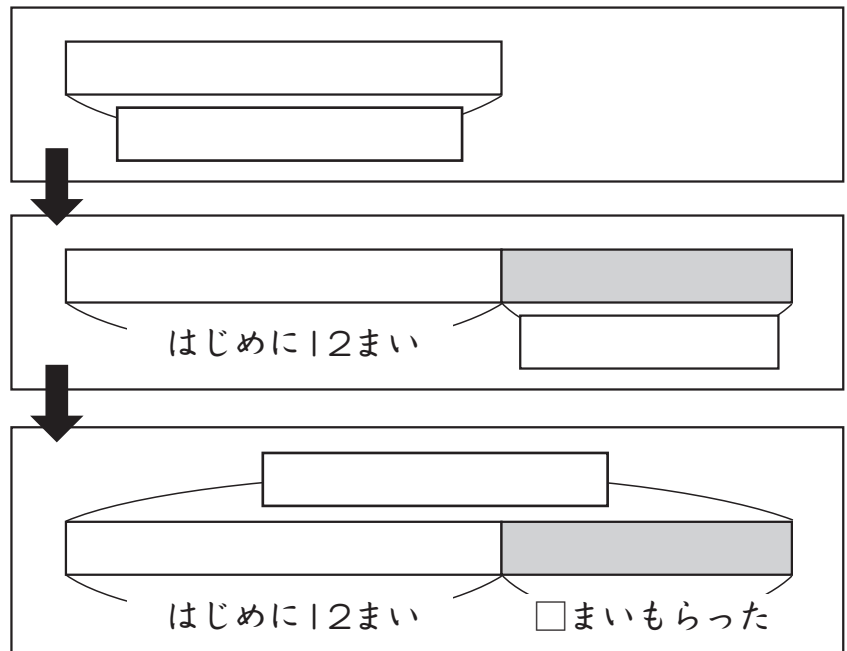
もらったシールは何まいでしょうか。

- ① もんだいにあわせて、テープ図にあらわしましょう。

はじめに12まい
もっていて、

□まい
もらった。

ぜんぶで
20まいになった。



- ② ^{しき}式を書いて、^{こた}答えをもとめましょう。

式

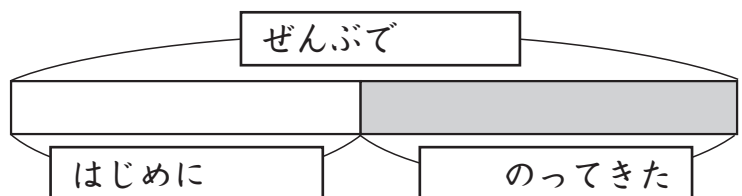
$$\boxed{} = \boxed{}$$

答え

- ② バスに13人のっています。とちゅうで何人かのってきたので、ぜんぶで27人になりました。とちゅうでのってきた人は何人でしょうか。

- ① テープ図に
あらわしましょう。

- ② 式を書いて、
答えをもとめましょう。



式

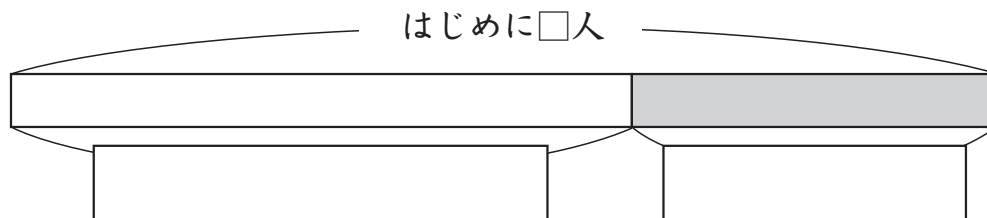
$$\boxed{} = \boxed{}$$

答え

ねらい 減法逆加法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。

① もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

- ① こうえんで、子どもが何人かあそんでいました。
7人かえたので、のこっている子どもは12人になりました。
はじめにあそんでいた子どもは
何人だったでしょうか。



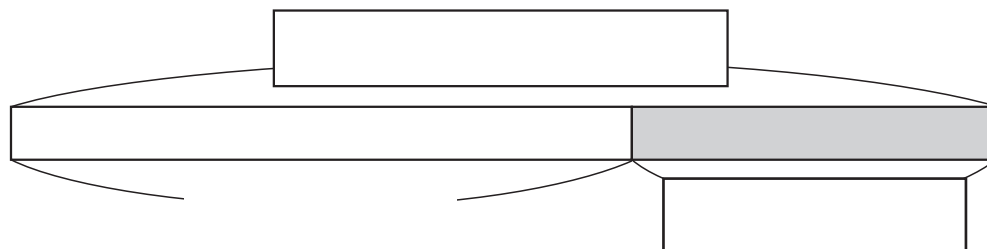
- ② 式に書いて、答えをもとめましょう。

式

答え

② もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

- ① おり紙が何まいありました。13まいもらったので、
28まいになりました。
はじめにおり紙は何まいあったでしょうか。



- ② 式に書いて、答えをもとめましょう。

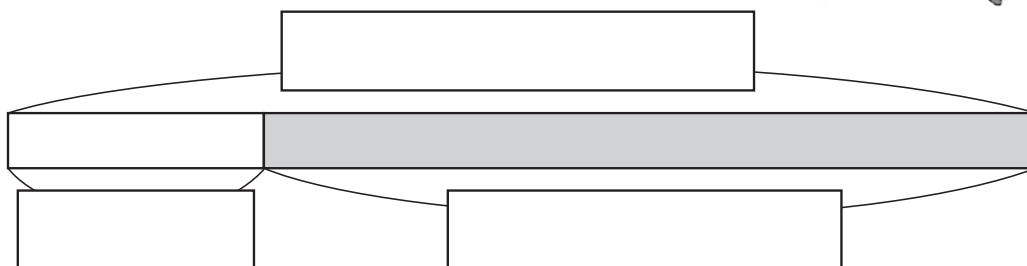
式

答え

ねらい 減法逆減法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。

Ⅰ もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

- ① おこづかいを100円もっていました。いくらかつかったので、のこりが25円になりました。つかったのは何円でしょうか。



- ② 式に書いて、答えをもとめましょう。

式

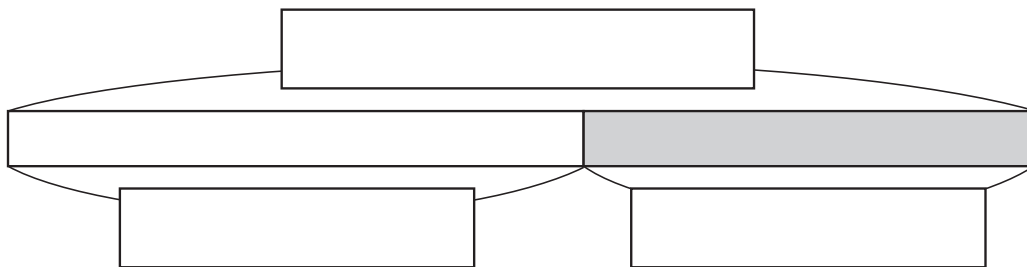
答え

Ⅱ もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

- ① ビー玉を32こもっていました。いもうとに何こかあげたので、のこりが18こになりました。あげたビー玉は何こでしょうか。



テープ図にあらわして考えましょう。



- ② 式に書いて、答えをもとめましょう。

式

答え

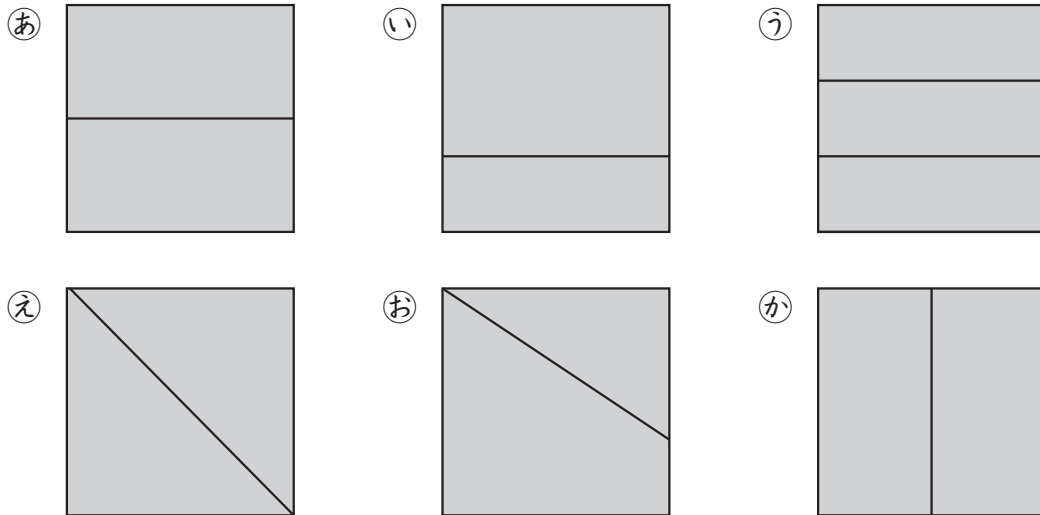
17 1 を分けて ①

な
ま
え

ねらい 1/2の大きさや意味を理解する。

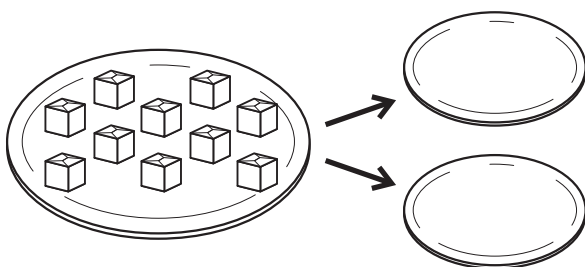
- ① このプリントをおりまげて、ちょうど^{はんぶん}半分に分けましょう。
^{かた}分け方を2とお^かり書きしましょう。

- ② 正方形の^{せいほうけい}おり紙^{がみ}を半分に分けているのは、どれでしょうか。



()

- ③ キャラメルが10こあります。2人で半分に分けると、
^{なん}何こずつに分けられるでしょうか。



()

17 1を分けて ②

な
ま
え

ねらい 等分の意味や、等分と倍の関係を知り、 $1/2$ の大きさについて理解を深める。

① () にあてはまることばを、□にはあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。

① 同じ^{おな}大きさに2つに分けた^わ1つ分^{ぶん}を () といい、



と書きます。

② 同じ大きさに分けることを () するといいます。

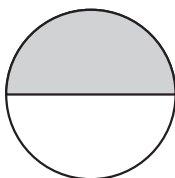
③ □ は、もとの大きさを2^{とうぶん}等分した1つ分の大きさです。

② $\frac{1}{2}$ に切った^き長さ^{なが}を何^{なんばい}倍すると、もとの長さになるでしょうか。

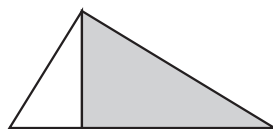
こた 答え () 倍

③ 色^{いろ}をぬったところが、もとの大きさの $\frac{1}{2}$ になっている図^ずをすべてえらびましょう。

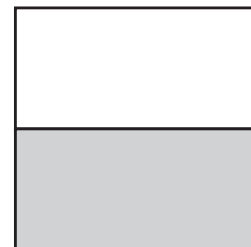
あ



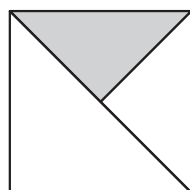
い



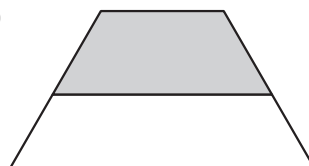
う



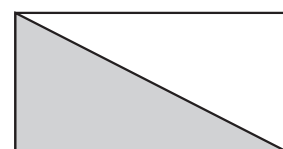
え



お



か



()

17 1を分けて ③

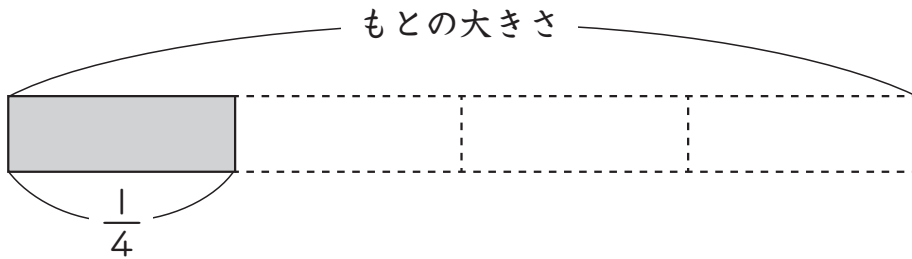
な
ま
え

ねらい 1/4、1/8の大きさや分数の意味を理解する。

□ () にあてはまることばを、□にはあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。

① 4等分した1つ分を、もとの大きさの()といい、

$\frac{1}{4}$ と書きます。



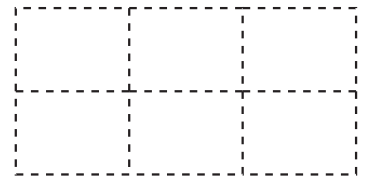
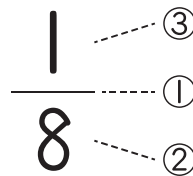
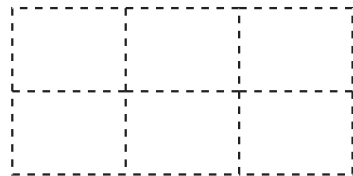
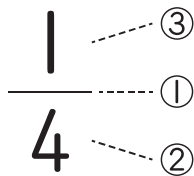
② 8等分にした1つ分を、もとの大きさの()といい、



と書きます。

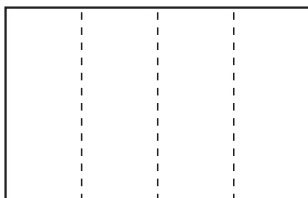
③ $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ のようにあらわした数を、()といいます。

④ $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ を書くれん習をしましょう。

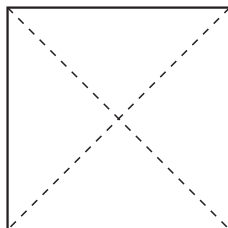


② つぎの大きさになるように色をぬりましょう。

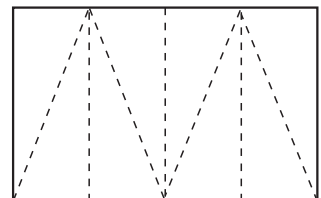
① もとの大きさの $\frac{1}{4}$



② もとの大きさの $\frac{1}{2}$



③ もとの大きさの $\frac{1}{8}$



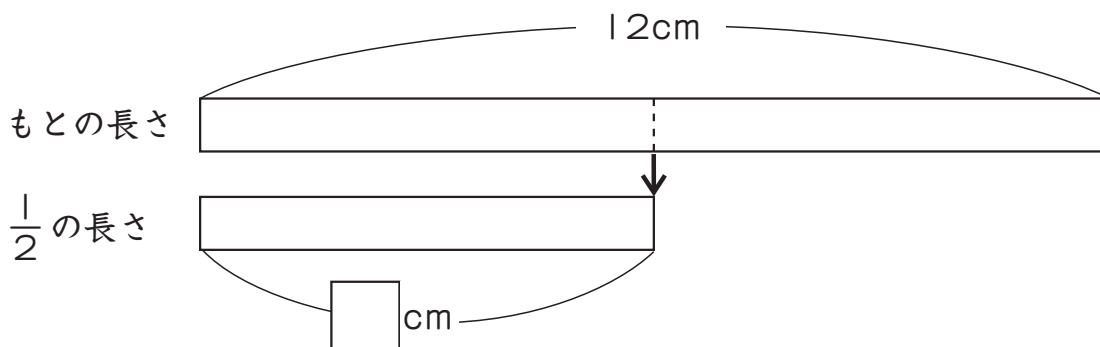
ねらい もとの大きさが違うと $\frac{1}{2}$ の大きさも違うことに気づき、分数の意味について理解を深める。

- ① まさきさんとさとこさんが、それぞれテープを切^きって、
もとの長さ^{なが}の $\frac{1}{2}$ にしました。

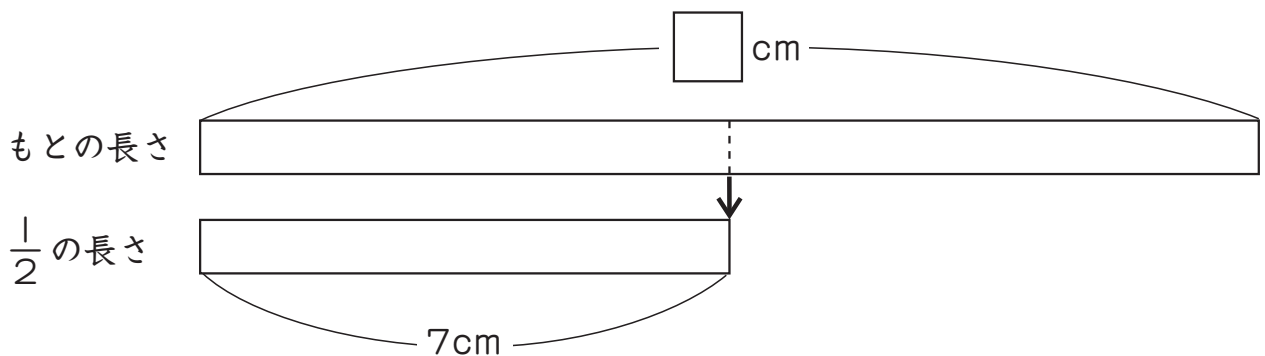


- ① まさきさんのテープは、
もとの長さが12cmでした。

このテープの $\frac{1}{2}$ の長さ^{なん}は何cmでしょうか。



- ② さとこさんが $\frac{1}{2}$ にしたテープの長さは7cmでした。
このテープのもとの長さは何cmだったでしょうか。



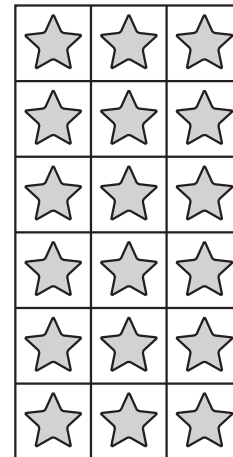
- ③ もとの長さが（ ）と、その $\frac{1}{2}$ の長さもちがいます。

17 1を分けて ⑤

な
ま
え

ねらい 1/2、1/3、1/4の大きさを作る活動を通して、乗法、除法についての素地となる見方を養う。

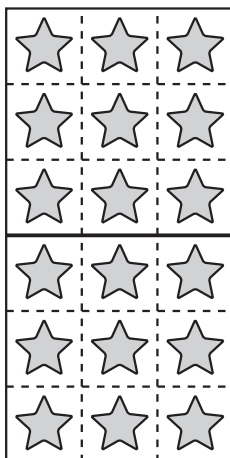
Ⅰ クッキーがはこに入っています。
 1人分が同じになるように分けるには、
 どんな分け方があるでしょうか。
 分ける線をかきましょう。
 また、分けた1つ分を分数で
 あらわしましょう。



クッキーは
18まい

(れい)

2人に分ける

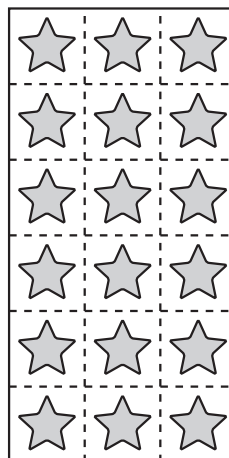


18まいの は

まい

①

3人に分ける

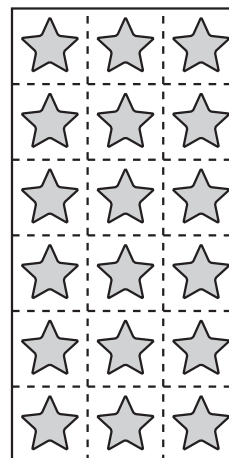


18まいの は

まい

②

6人に分ける



18まいの は

まい

★ 算数をつかって考えよう

な
ま
え

ねらい

グラフの○の数の合計に着目して、九九が適用できるように分割したり移動したりして求める仕方を説明する。

- ① みきさんは、5人でチームを組んで、さかなつりゲームに
ちょうせんしています。

4人めのはるさんまでのきろくを、グラフにあらわしました。

●				
●				
●	●	●		
●	●	●		
●	●	●	●	
●	●	●	●	
みきさん	けんさん	ゆいさん	はるさん	ちえさん

- ① みきさんがつったさかなの数は、
はるさんがつったさかなの数の何倍でしょうか。

() 倍

- ② みきさんたちは、チーム5人で、
合計20ぴきつることをもくひょうにしています。
ちえさんが何びきつると、チームの合計が
20ぴきになるでしょうか。

() ひき

- ③ みきさんが、みきさん、けんさん、ゆいさん、はるさんの4人の
合計を、たし算で、 $6 + 4 + 4 + 4 + 2$ ともとめようとしましたが、
けんさんが「九九をつかってもとめられるよ」といいました。

けんさんは、どのように考えたのでしょうか。図をつかって
せつ明しましょう。また、九九の式も書きましょう。

●			
●			
●	●	●	
●	●	●	
●	●	●	●
●	●	●	●

()

九九の式 ()

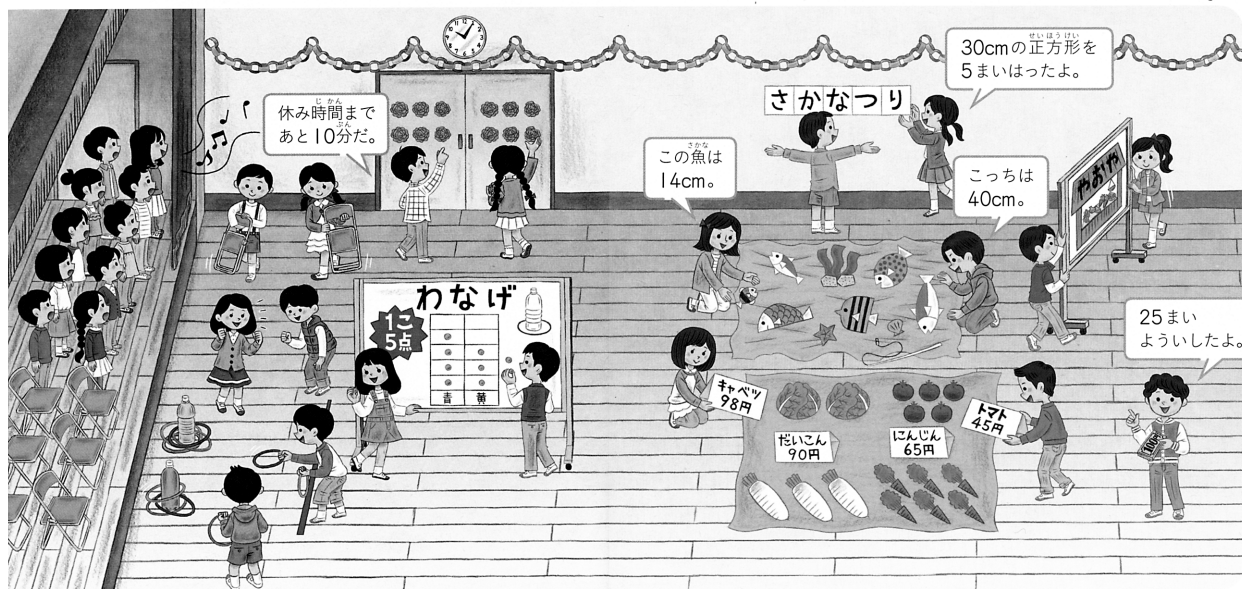
★ 算数ワールド
お楽しみ会で算数

なまえ

ねらい お楽しみ会の場面絵をもとに2学年で学習した内容を理解し、問題を解くことができる。

お楽しみ会で算数

このお楽しみ会のじゅんぴを
しているよ。



Ⅰ つぎの①から③の答えをもとめましょう。

- ① 30cmの正方形の紙を5まい横につなげました。
横の長さは何cmでしょうか。

答え

- ② 98円のキャベツと65円のにんじんとでは、
どちらが何円やすいでしょうか。

答え

- ③ 100を15こあつめた数はいくつでしょうか。

答え

★ 2年のまとめ ①

な
ま
え

ねらい 数と計算についての問題 (①～⑥) に取り組む。

① □にあてはまる数^{かず}を書きましょう。

① 1000を5こ、1を8こあわせた数は□です。

② 10000より1小さい数^{かず}は□です。

③ 4085は、□を4こ、□を8こ、□を5こあわせた数です。

② 計算^{けいさん}をしましょう。

① $400 + 600 =$

② $1000 - 700 =$

③ $784 + 78 =$

④ $634 - 57 =$

③ □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

① $382 \square 329$

② $6789 \square 6791$

④ 28円の画用紙^{がようし}を1まいと、67円のえんぴつ^{えんぴつ}を1本買います。
100円玉を出すと、おつり^{おつり}は何円でしょう。し
き
式こ
た
え

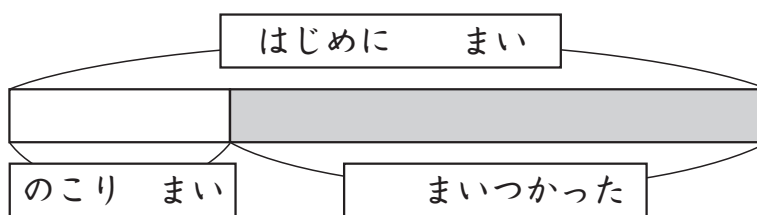
★ 2年のまとめ ②

な
ま
え

ねらい 数と計算についての問題 (7~11) に取り組む。

- 1 はじめにシールを何まい^{なん}かもっていました。17まい^{まい}つかった^つので、のこり^のが7まいになりました。

はじめにシールは何まいあ^あった^たでしょう^うか。
テープ図^ずにあらわ^{かんが}して考え^{かんが}ま^{かんが}しょう。



し
き
式

こ
た
答
え

- 2 答えが36になる九九を、ぜんぶ^か書きま^かしょう。

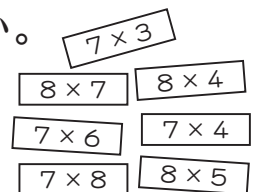
()

- 3 右の九九のカードからえらびま^えしょう。

- ① () の答えは () の答えより7大きい。

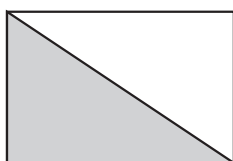
- ② () の答えは () の答えより8小さい。

- ③ () の答えは () の答えと^{おな}同じ。

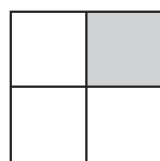


- 4 色^{いろ}をぬ^ぬったところの大きさが、もとの大きさの $\frac{1}{4}$ になっている

図に○をつけま^つしょう。



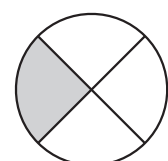
()



()



()



()

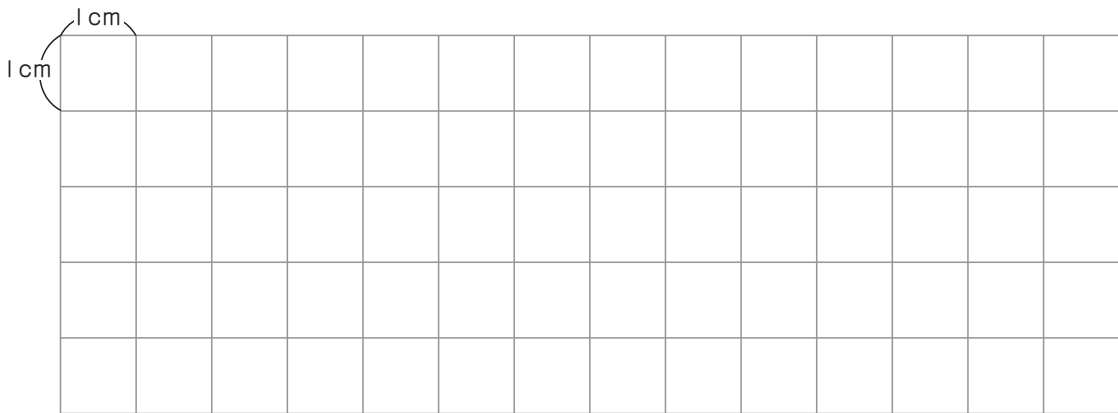
★ 2年のまとめ ③

な
ま
え

ねらい 図形や測定についての問題に取り組む。

Ⅰ つぎの形を^{かたち}方^{ほう}が^{へん}んをつか^{なが}ってかきましょう。

- ① 2つの^{へん}辺の^{なが}長さが2cmと3cmの^{ちようほうけい}長方形
- ② ^{ちようかく}直角になる2つの^{へん}辺の^{なが}長さが3cm、4cmの^{ちようかくさんかく}直角三角形



Ⅱ 右のようなのはこの形について、つぎの^{こた}もんだいに^{こた}答えましょう。

- ① ^{てん}ちょう点はいくつあるでしょうか。

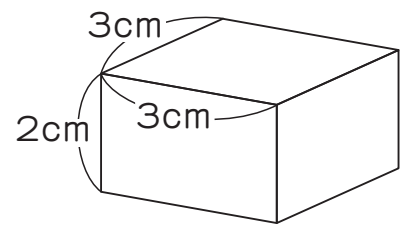
()

- ② 長さが2cmの^{へん}辺はいくつあるでしょうか。

()

- ③ 1つの^{へん}辺の長さが3cmの^{めん}正方形の^{めん}面はいくつあるでしょうか。

()



Ⅲ □にあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。

- ① 1 m 35 cm = cm

- ② 2 L 4 dL = dL = mL

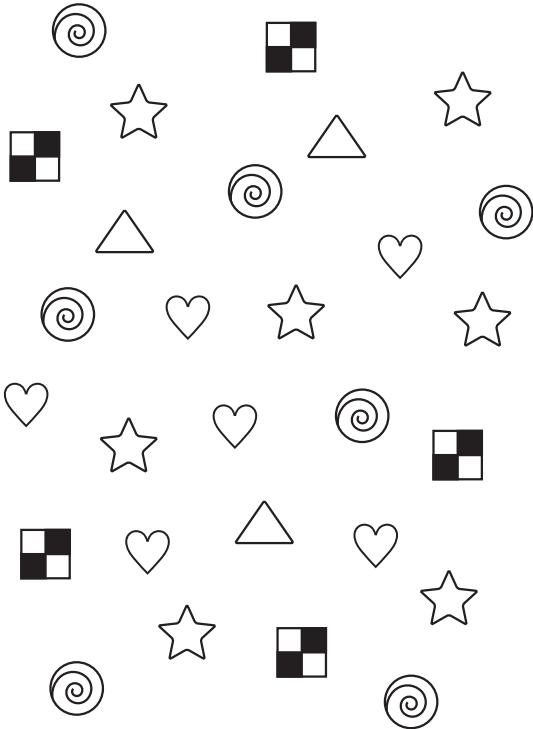
ねらい

測定やデータの活用についての問題に取り組む。

Ⅰ

クッキーの^{かず}数を、^{ひょう}表やグラフにあらわしましょう。

●				
●				
●				
●				
●				
●				
●				
ほしがた	さんかく	チェッカー	うずまき	ハート
☆	△	■	◎	♡



クッキーの数しらべ

しゅるい	ほしがた☆	さんかく△	チェッカー■	うずまき◎	ハート♡
数（こ）					

- ① 数が^{おな}同じクッキーは、どれとどれでしょうか。
また、その数は^{なん}何こでしょうか。
（ ）と（ ）で（ ）こ
- ② いちばん^{すく}少ないクッキーは、どれでしょうか。
また、その数は何こでしょうか。
（ ）で（ ）こ